

# 豆知識通信

「これでいいのかしら?」「ほんとはどうなの?」ちょっとしたことだけど今さら誰にも聞けない。そんな疑問、質問にお答えする豆知識通信。ちょっとだけ、あなたのお力になります。

**Q 1** 位牌について、詳しく教えてください。

**A 1** 位牌について詳しくご説明します。下記をご覧ください。 【葬儀概論より引用】



位牌は、仏教葬儀で死者の霊を祀るために使われる木製の牌で、「<sup>れいはい</sup>霊牌」とも言います。元来、<sup>じゅそう</sup>儒葬で使われた「<sup>もくしゅ</sup>木主」や民俗信仰の「<sup>たましろ</sup>霊代」から生まれたものと言われ、死者の霊が宿る<sup>よりしろ</sup>依代でした。

表には戒名(法名、法号)が書かれ、裏には俗名(生前名、本名)と死亡時年齢(享年、通常は数えで)、死亡年月日などが書かれます。

一般に四十九日までは白木(内位牌、仮位牌とも言う)の位牌を用い、この期間は仏壇ではなく中陰壇に置かれるのが一般的です。また、内位牌とは別に白木の「<sup>のいはい</sup>野位牌」が作られ、埋葬地に置かれるところもあります。忌明と共に内位牌は寺に納め、野位牌は墓に埋めたり、焼いたりします。忌明以降は塗り位牌を仏壇に納めます。

浄土真宗の場合には、死者を礼拝の対象にしないという考えから、原則として位牌を用いません。しかし、地域により葬儀の時に限って白木の位牌を用いることもあります。その場合でも本尊と並べたり、本尊の前に置いてはいけなさとされています。浄土真宗で位牌の代わりに用いられるのが「法名軸」という掛け軸形式のもので、そこに法名を記して仏壇(お内仏と言う)の側面に書けます。法名軸には、順次法名を記載していく場合のものもあれば、過去帳にして、仏壇の中断または下段の横に置く場合もあります。

★次回は、位牌を作るときの注意点や形・種類の違いなどについてご紹介します。

日野岩葬送会館 想樹の杜  
☎ 0120-122-866  
✉ [info@hinoiwa.com](mailto:info@hinoiwa.com)